

# 農業活動×地域包括ケア (農福地域包括ケア連携) による地域づくり

東海大学文理融合学部経営学科 教授

濱田健司

# これまでの農福連携

障害者が農業生産を行う

= 障害者が、就労訓練や就労を目的に農業生産を行う

# 農福連携モデル 4タイプ

①事業所内型	②作業受委託型
<p>障害福祉サービス事業事業所（社会福祉法人、NPO法人、一般社団法人、株式会社等）が自己所有する農地や借りた農地で農業を行う。</p>	<p>農業法人等が農繁期や不足する労働力を補うために障害福祉サービス事業所等へ作業を委託する。主に事業所外の農業法人等の農地で作業を行う（こうした障害福祉サービスを「施設外就労」という）。</p>
③雇用型	④協同組合型
<p>農業法人、企業等で障害者と雇用契約を結び一般就労を行う。</p>	<p>障害者が農業にかかる団体において出資、経営、労働に従事する。</p>

# これからの農福連携

キョードー者が「農」を通じ、いろいろな目的のために、さまざまな事業・活動を行う。

## キョードー者とは

- 社会的弱者
- 社会的に不利な立場にいる者
- 働きづらさを抱えた人々
- 生きづらさを抱えた人々
- 障害者



共に必要な存在 = 「キョードー者」

## いろいろな目的

- 就労
- 社会参加
- 生きがいづくり
- 健康づくり
- リハビリテーション
- レクリエーション
- など

# 農福連携の目的・・・最終目的

多様な人々が共生する「マチ」をつくる。

自然と人間が共生する「里」をつくる。

里×マチ＝里マチを創造する。

これを日本中に広めていく！！！！

# 「農」の新しい価値

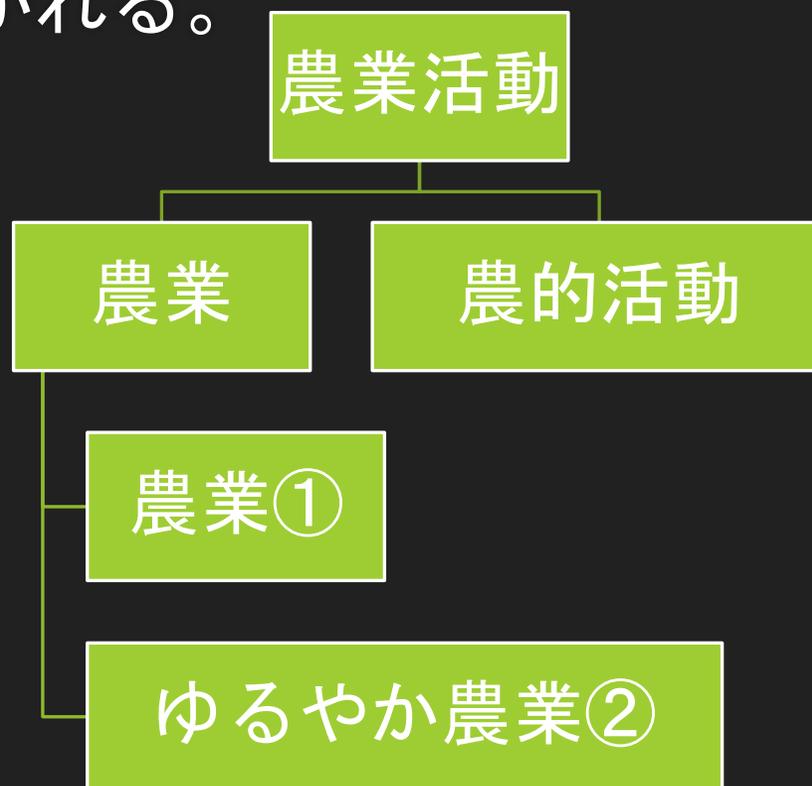
「農」は人間に対しては、農産物を生産することを通じて、収入を得る機会、働く機会を提供するだけでなく、生きがいづくり・健康づくり・社会参画・レクリエーション・治療・リハビリテーションなどさまざまなサービスを提供することができる。

これまでの農業はモノを提供し、対価を得る

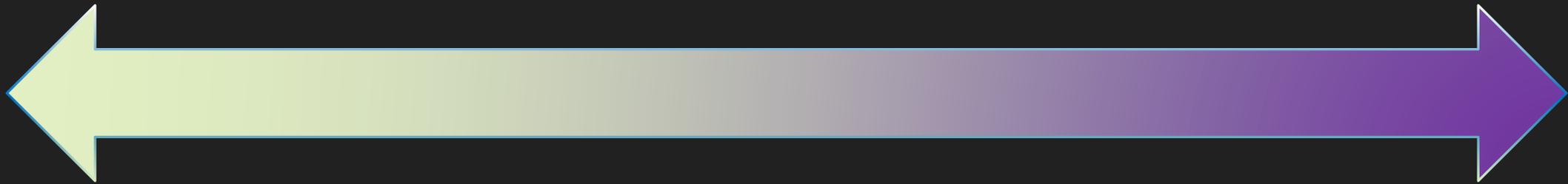
これからの「農業」はモノ+サービスを提供し、対価を得るもの（＝農生業）。  
さらに活動を取り込んでいく（＝農業活動）。

# 農業活動とは

農業活動は大きく農業と農的活動に分かれ、農業はさらにゆるやか農業と農業に分かれる。



元気高齢者	要支援者	要介護者
健常者・軽度障害者	軽度・中度障害者	重度障害者
一般就労	福祉的就労	治療・リハビリ・レク



## 農業 (就農)

農産物を生産し、その対価を得ることが目的

## ゆるやか農業 (ゆるやか就農)

農産物を生産し、その対価を得るが、健康づくり・生きがいつくり・社会参加などが目的

## 農的活動 (活動)

農産物を生産し、健康づくり・生きがいつくり・社会参加・リハビリテーション・レクリエーションなどが目的(対価・謝礼を得ることも可能)

( 就労 ・ 社会参加 ・ 生きがいつくり ・ 健康づくり ・ リハビリテーション ・ レクリエーション )

# 農福連携の第二フェーズ・・・マチづくり

(1) 「農」と「福」を広げる

(2) 農福+α連携に取り組む

# (1) 「農」と「福」を広げる

## 「農」

林業、水産業、エネルギー産業等

⇒林福連携、水福連携など

## 「福」

高齢者

生活困窮者

生活保護受給者

刑余者

ひきこもり

ニート

シングルマザー

移民・難民

など

キョードー者

## (2) 農福+a連携

「+a連携」とは

例)

農福商業連携 ・ ・ ・ 農産物の販売も行う

農福工業連携 ・ ・ ・ 農産物の加工をお香

農福教育連携 ・ ・ ・ 障害者が子どもに農業を教える

農福環境連携 ・ ・ ・ 障害者が放置林、農地を保全する

農福観光連携 ・ ・ ・ 障害者が観光の特産物を生産する

# ①農福商工連携

## 1) 事業所内型農福商工連携

事業所内において農福商工連携、つまり6次化

## 2) 地域型農福商工連携

地域のさまざまな主体が連携して農福商工連携

## 3) 地域間農福商工連携

地域を超えたさまざまな主体が連携して農福商工連携

(1) 「農」と「福」の広がり  
～高齢者の農福連携～

## 農福連携の広がり

高齢者の農福連携は農業分野の取組みだけにとどまりません。農福連携による農的活動や農業などをきっかけに6次産業化や林業・水産業・エネルギー産業、そして多様な人々の共生などへつながることで多様な人々の可能性を引き出し、地域での新たな関係を生み出し、地域に貢献することもできます。



### 6次産業化

- 効果** 多様な人々が参加できる、多様な役割をつくる、交流できる  
**例** 農産物の加工、販売、飲食事業などに取り組み



### 林業・水産業・エネルギー産業

- 効果** 多様な人々が参加できる、多様な役割をつくる  
**例** シイタケ栽培、木工、バイオマス発電などに取り組み



### 共生

- 効果** 交流できる、学ぶことができる、役割を自覚できる、刺激になる  
**例** 障害者、子ども、生活困窮者等と共に取り組む

↓  
 そして地域振興・地域づくりへ

## Q & A

**Q** 農作業の指導を受けることはできますか？

**A** 近隣・知人の農業経験者に依頼、都道府県の普及指導センターや農福連携担当窓口へお尋ね下さい。

● 都道府県別普及指導センター  
<http://www.jadea.org/link/center.html>

● 厚生労働省・農福連携による障害者の就農促進プロジェクト・農福連携推進事業  
 都道府県によっては農業技術支援員等を派遣しています。

● 農山漁村振興交付金・農福連携対策(農福連携支援事業)  
 専門家の指導により農産物等の生産技術、加工技術、販売手法及び経営手法等の習得を行うための研修、視察等の取り組みを推進する場合の支援があります。(ただし、原則、農福連携推進事業との併用ですが、農福連携の取り組みを行う農産物生産者等に限定している場合は可能)

**Q** 社会福祉法人等が、農地を借りたり、購入はできますか？

**A** 社会福祉法人その協賛を目的としない社会福祉事業を行う法人が、農地を社会福祉事業のために利用する場合には、用途の農地利用に支障がない限り、農地所有適格法人の要件を満たさなくても、農地を借りたり、所有できます。(「農地法」による)

**Q** 介護サービスの利用者は、有償ボランティア等の社会参加活動に参加した場合に謝礼を受け取ることはできますか？

**A** 平成30年7月27日の厚生労働省 老健局 認知症対応型通所介護・認知症対応型居宅介護・老人保健施設からの事務連絡として「若年性認知症の方を中心とした介護サービス事業所における地域での社会参加活動の実施について」が通知され、認知症対応型通所介護を含む通所系サービス、小規模多機能型居宅介護等の利用者が事業所の外において有償ボランティア等の社会参加活動に参加した場合に謝礼を受けることが可能となる場合がありますので、周知を確認してください。

**Q** 施設整備などへの支援はありますか？

**A** 農林水産省の制度があります。

● 農山漁村振興交付金・農福連携対策(農福連携推進事業)  
 障害者や生活困窮者の雇用および就労を目的とする農業生産施設、農産物の加工販売施設並びに高齢者の生きがいおよびリハビリを目的とした農業生産施設またはそれらの附帯施設(休憩所、農機具収納庫、駐車場、給排水施設、衛生設備、安全設備等)の整備を支援します。

● 農山漁村振興交付金・農山漁村活性化整備対策(ハード)  
 市町村等が作成する活性化計画に基づき、農山漁村における定住、所得の向上や雇用の増大を図るために必要な生産施設等の整備を支援します。

## 高齢者の農福連携

「高齢者のゆるやか農業・農的活動」  
 令和2年度 厚生労働省 老人保健健康増進等事業



～高齢者のゆるやか農業・農的活動～

令和元年度 厚生労働省 老人保健健康増進等事業

## 高齢者の農福連携とは

元気高齢者と要介護認定高齢者がゆるやか農業および農的活動を行うこと。そして6次産業化を図ることで、高齢者はレクリエーション・リハビリテーション・健康づくり・生きがいづくり・介護予防等を実現し、さらにゆるやかな就業によって役割を果たすことで農業や地域に貢献することを目指します。

## 高齢者福祉の課題

我が国は、先進国の中でも急速に高齢化がすすみ、特に中山間地域などにおいては、少子高齢化や過疎化によって、高齢者の生活そして地域の維持が困難な状況になっています。そうした中で、高齢者が自分らしい人生を最後まで送ることができる地域包括ケアシステムの構築、地域の維持あるいは活性化が求められています。また、これまで高齢者は、地域において介護保険や医療サービス等を受ける対象と位置づけられてきましたが、今後はこうしたサービスを受けながらも家や地域に役割を持ち、貢献することが期待されます。

## 農業、地域の課題

農業は後継者不足と高齢化によって、担い手不足および労働力不足となっています。そのため基幹産業の一つの農業が衰退・停滞し、地域も活力を失いつつあります。

農福連携は2つの課題を解決する新たな取り組みとして、今注目されています！

令和2年3月発行

作成 農林水産省 農山村振興課 農福連携推進課  
 監修 農林水産省 農山村振興課 農福連携推進課  
 発行 農林水産省 農山村振興課 農福連携推進課

発行 農林水産省 農山村振興課 農福連携推進課  
 監修 農林水産省 農山村振興課 農福連携推進課  
 発行 農林水産省 農山村振興課 農福連携推進課

# 高齢者は「ゆるやか農業」「農的活動」が中心

## 農業

(就農)

農産物を生産し、その対価を得ることが目的

## ゆるやか農業

(ゆるやか就農)

農産物を生産し、その対価を得るが、健康づくり・生きがいつくり・社会参加などが目的

## 農的活動

(活動)

農産物を生産し、健康づくり・生きがいつくり・社会参加・リハビリテーション・レクリエーションなどが目的(対価・謝礼を得ることも可能)

( 就労 ・ 社会参加 ・ 生きがいつくり ・ 健康づくり ・ リハビリテーション ・ レクリエーション )

# 高齢者の農福連携モデルの4つ

## ● ゆるやか農業・農的活動のモデル

モデル	定義	農業活動種類	作業タイプ	目的
リタイヤ農業者型農業	高齢化等により農業をリタイヤした者・する者による農業(販売実施)	ゆるやか農業(農業)	ゆるやか就農(就農)	健康づくり 生きがづくり 社会参加(就労)
定年退職者型農業	農業経験のない・農業に主として従事していなかった定年退職者・帰農者等による農業(販売実施)	ゆるやか農業(農業)	ゆるやか就農(就農)	健康づくり 生きがづくり 社会参加(就労)
介護予防型農的活動	介護予防・日常生活支援総合事業(以下、総合事業)の利用者等による農的活動(販売含む)	農的活動(ゆるやか農業)	趣味等>ゆるやか就農(>サービス料支払い)	レクリエーション 健康づくり 生きがづくり 社会参加
介護サービス型農的活動	介護サービス事業の利用者等による農的活動(販売含む)	農的活動(ゆるやか農業)	サービス料支払い(>趣味等>ゆるやか就農)	レクリエーション リハビリテーション 健康づくり 生きがづくり 社会参加

# 事例

- 越知町
- NPO法人たかつき（大阪府）

## ②農福商工連携

2) 地域型農福商工連携 ・ ・ ・ 社会福祉法人よさのうみ福祉会

## (2) 農福+a連携に取り組む

- ① 農福地域包括ケア連携（農福生活連携）  
＝農村RMO

# 農村RMOモデル&重層的支援モデル

「農福地域包括ケア連携」モデル

～事例 高知県安芸圏域・安芸市～

# 「〇〇さんプロジェクト」

「〇〇さんの困っていること、やりたいことに支援、伴走、寄り添う、協力」

例) Aさん

代々続く農家、長男（兄妹はいるが疎遠）、40代、コミュニケーション難、亡くなった親の家に一人で住んでいる、従弟が時々お金や食料を送ってくれる。

⇒どんな支援が必要、誰がどのように関わったら良いか？

# 目指すのは

「多様な人々が共生するマチをつくる」

「自然と文化を守り、つくる」



あらゆる人間が共生するマチ+人間と自然が共生するマチ

～共に生き、支え合う 「里マチ」 づくり～